

令和6年度 第1回岐阜支部評議会概要報告

開 催 日 時	令和6年7月24日(水) 14:00～15:15
開 催 場 所	濃飛ビル15階 会議室
出 席 評 議 員	永田評議員(議長)、井上評議員、梅津評議員、大杉評議員、 川本評議員、佐伯評議員、長崎評議員、村瀬評議員(五十音順)
議 題	1. 令和5年度決算見込みについて【報告事項】 2. 令和5年度事業実施結果について【報告事項】
議 事 概 要 (主 な 意 見 等)	評議員9名中8名が出席 各議題について事務局より資料に基づき説明。主な意見等は以下のとおり。 1. 令和5年度決算見込みについて【報告事項】 【学識経験者】 協会けんぽの財政状況は準備金残高が法定準備金の約6か月分と増加しているが、今後さらに医療給付費や後期高齢者支援金等の拠出金が増加していく見込みであるため、厳しいということか。 <事務局> 令和5年度10月の評議会で、令和6年度の保険料率について議論していただく際の準備金残高等のシミュレーションを示した。平均保険料率を10%、賃金上昇率を0.7%で仮定した場合、令和8年度には単年度収支が赤字となり、10年後には法定準備金の確保が難しくなるという試算を出し、今後の財政状況は厳しくなることをお話しした。しかし、令和5年度の協会けんぽ被保険者の標準報酬月額の上昇率は対前年度比+2.0%であり、前回の試算から条件も変化しているため、次回の評議会にて直近のデータに基づき、いくつかの賃金上昇率等のパターンに分けたシミュレーションをお示しし、令和7年度の保険料率について議論していただく予定である。 2. 令和5年度事業実施結果について【報告事項】 【学識経験者】 岐阜支部が実施した「健康保険委員を対象としたマイナ保険証に関するアンケート結果」の中で、「マイナ保険証の利用の支障となっていることはありますか」という問いに対して「マイナンバーカードを持ち歩くことについて不安がある」や「医療保険に関する登録データの正確性について不安がある」と回答された方の割合が高い。岐阜支部として加入者の不安を解消する対策を考えているのか。

<事務局>

今回のアンケートでいただいたマイナ保険証に対する不安や疑問などについての回答を、「マイナ保険証 Q&A」としてまとめて岐阜支部ホームページに掲載する予定である。

【事業主代表】

中小企業で賃上げできている事業所は少なく、倒産件数も徐々に増えてきていることから、令和7年度の保険料率のシミュレーションは厳しい前提条件で試算するべきだと考える。また、健康経営は今いる従業員に健康で長く働いてもらい労働力を確保するために非常に重要であるが、もう少し経済的な視点を入れた取り組みが出来ると良い。

<事務局>

中小企業が賃上げを続けていくのは難しいと考えている。令和7年度の保険料率のシミュレーションは次回の評議会でいくつかのパターンに分けたものをお示ししたい。健康経営については事業所から健康宣言にエントリーした後、どうすればよいかわからないという話をよく聞く。そのため、県内や全国の事業所も含めて健康経営の成功事例を岐阜支部で発信できないかと考えている。

【学識経験者】

<事業主代表の意見に対しての質問>

経済的な視点というのは健康経営に取り組んでいる事業所の売り上げが伸びるなど経営面でのプラスがあると良いということか。

【事業主代表】

その通りです。他には健康経営に取り組んでいる事業所に対してもっとインセンティブや補助金などがあると良い。

【事業主代表】

今までのマイナンバーカードの広報は便利な点やメリットなど良い面ばかり強調しているものが目立つ。チラシや新聞などでマイナンバーカードを紛失した場合の対処法等加入者が心配に思っている点の回答を中心に広報すれば加入者の不安解消にもつながるのではないかと。

マイナ保険証は成功してほしいので、協会けんぽの努力に期待している。

<事務局>

広報する際の参考としたい。

【学識経験者】

資格確認書があれば、マイナ保険証を利用しなくてもよいと考えてしまう加入者がでてくるのではないかと。資格確認書を申請する前に事業主から従業員へマイナ保険証を利用するよう案内してもらえると良い。

<事務局>

マイナンバーカードをお持ちでない加入者もいるため、マイナ保険証を利用する以外にも医療機関に受診できる体制を整える必要がある。

資格確認書の発行はやむを得ないが、多くの加入者にマイナ保険証を利用していただけるように広報したい。

特記事項	
	・傍聴者1名(岐阜新聞社) ・次回開催は令和6年10月下旬の予定